

診療情報管理専攻科

で夢を叶えた先輩



常に「新しいこと」に挑戦できるように

努力し続けていきたいです。



もともとパソコンでの作業が好きだったこともあり、診療情報管理専攻科に進学することにしました。医療事務科での学びよりも、幅広く医療や情報処理に関する勉強をするので大変なことも多くありましたが、学んできたことが現場で活かされていると日々感じています。主となる河北総合病院では、患者様に関するデータの検索、入退院カルテの管理などに携わっています。いまの目標は、蓄積されているデータを把握して、新しく取り組めることを病院に提案できるようになることです。医療業界は日進月歩なので研修会などに参加して、新しい情報を手に入れる努力をしていきたいです。

社会医療法人 河北医療財団 勤務

安齋 恵美さん 県立白山高等学校出身 2016年度卒業



入学希望者へ
メッセージ

この仕事は、院長やドクターと直接やりとりを行うことがよくあります。そんなときは横浜医療情報で学んだ「社会人としての礼儀作法」が、とても役立っています。在学中に「チャンスは平等。それを掴みにいくかは自分次第」という言葉を教わりましたが、この横浜医療情報に入学することもひとつのチャンスだと思います。ぜひ一度、学校見学に訪れてみてください。

